



環境月間

6月5日の「環境の日」にちなんで、6月は環境月間と定められています。市では、「地球とはもつとなかよくなれるはず」をテーマに、コイの放流を盛り込んだ「河川の観察会」や環境問題講演会など、さまざまな事業を開催して、環境についての意識啓発を行いました。

子供のときから環境問題を考える 「わたしたちの環境」学習会

6月15日 神戸小学校で同校3～6年の318人を対象に、「わたしたちの環境」学習会が行われました。

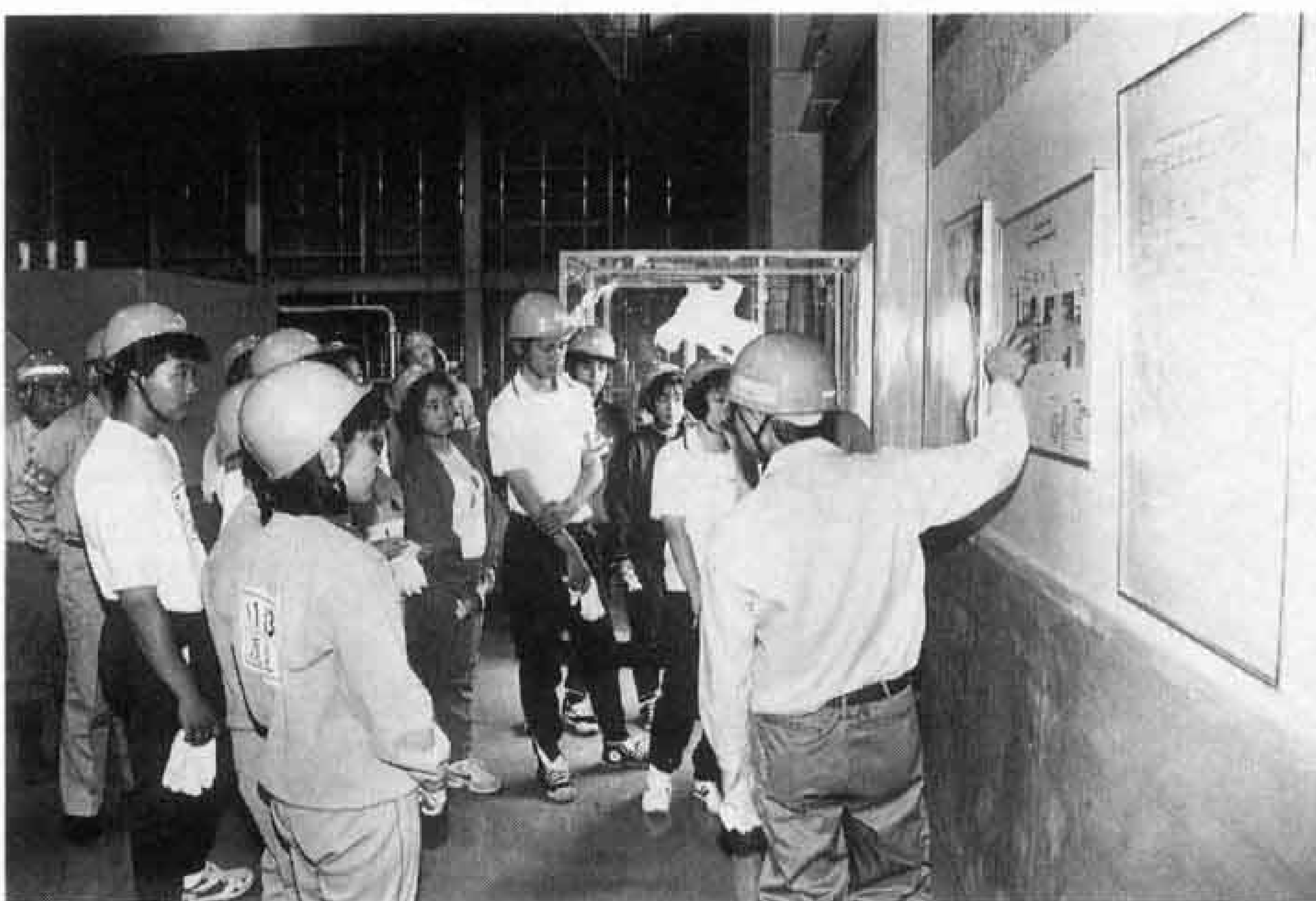
この学習会は、子供のときから環境問題を考えてもらおうと開催。子供たちは、各学年に分かれて、地球環境問題や騒音、河川の水質汚濁、大気汚染など、市公害課職員からの説明を熱心に聞いていました。

参加した5年生からは、「オゾン層はふやすことができるのか」、「なぜ地球が暖くなるのか」など、活発な質問が飛び交い、環境問題について興味深く感じたようでした。



高校生が製紙工場を視察 「1日環境監視パトロール隊」

6月16日 市長を隊長に、市内6高校の12人の生徒が、「1日環境監視パトロール隊」を結成。環境保全に積極的に取り組んでいる本州製紙(株)富士工場の水質汚濁・大気汚染防止対策や、古紙のリサイクルの状況を視察しました。参加者の一人は、「会社は利益追求だけをしていると思っていたけれど、排水処理など環境のことを考えていてくれてよかった」と強い関心を示していました。



1人1人が環境問題を意識して 「わたしたちと環境展」

6月20～30日 市役所2階市民ギャラリーで「わたしたちと環境展」を開催。パネルを展示して、「1人1人が環境問題を意識して生活してほしい」と訴えかけました。





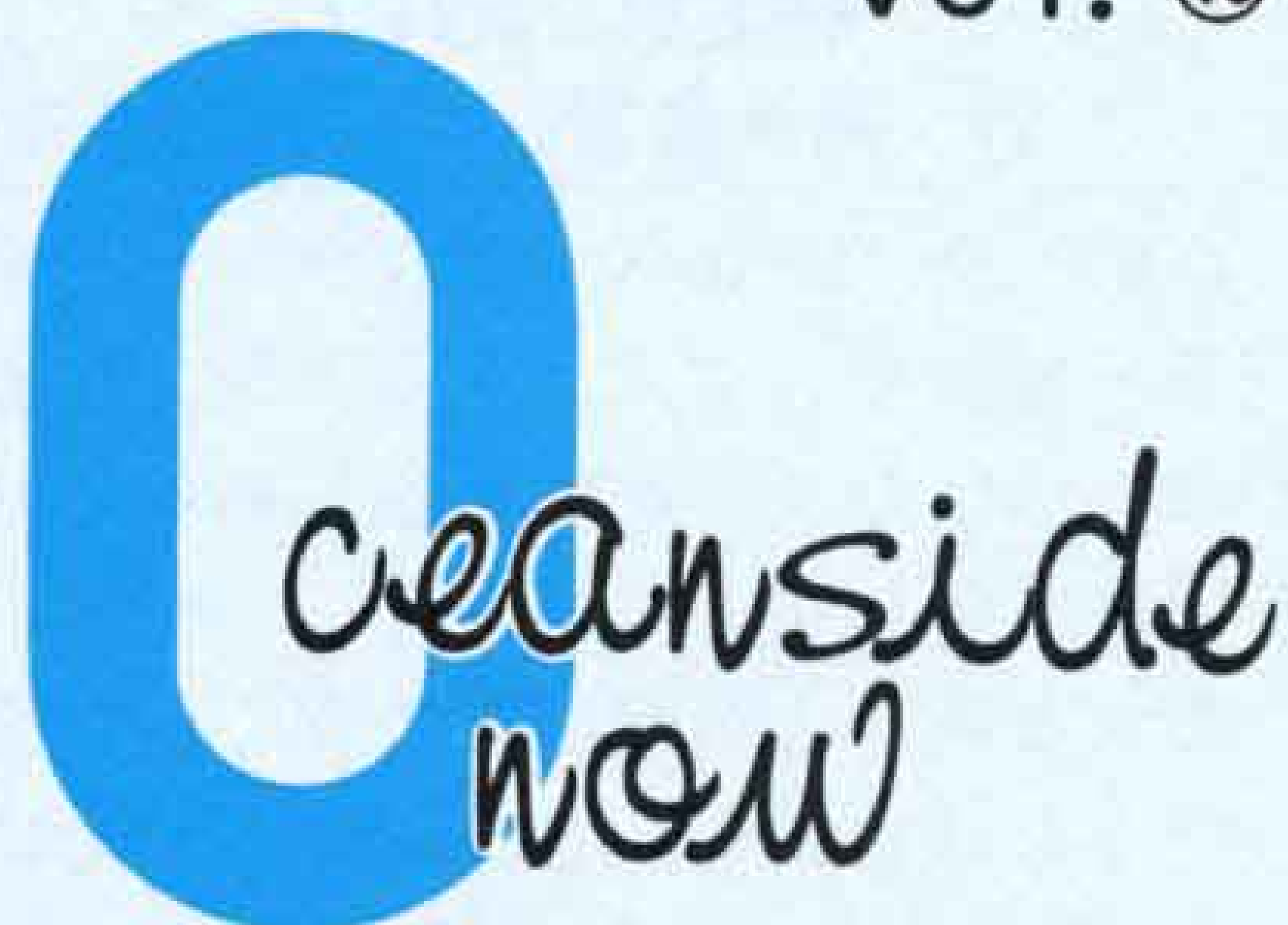
吉原本町通りに夏到来 「吉原祇園祭」

6月10・11日 富士市の四大祭りの一つ、吉原祇園祭が夏祭りのトップを切って行われました。

会場となった吉原本町通りには、力強いおはやしの音とともに、所狭しと20台もの山車が引き回され、競り合う様子は華麗で迫力満点。また、女みこしは「ソイヤ！ソイヤ！」、男みこしは「ワッショイ！ワッショイ！」と大声を張り上げ、威勢よく練り歩きました。

2日間天候にも恵まれて、たくさんの子供たちや家族連れなどでにぎわい、吉原本町通りに夏の到来を告げました。

オーシャンサイド ナウ vol. ⑩



このコーナーでは、富士市の姉妹都市アメリカ合衆国オーシャンサイドの情報をお知らせしています。

今回は、5月30日～6月19日の約3週間、オーシャンサイドのミラコスタ大学から、友好訪問団が富士市を訪れましたので、その様子をお知らせします。

来富したのは、同大学で日本語を専攻している19歳から70歳までの学生13人。市内の一般家庭（22家族）にホームステイし、ホストファミリーとの交流を深めました。また、市内見学や日本語の学習、書道、茶道、生け花、富士の型染、座禅など、日本の伝統文化を体験しました。

書道体験では、なれない手つきで筆を持ちながらも、とても初めて書いたとは思えない立派な作品が完成。参加者の一人は、「書道は自分自身を自由に表現でき、とても興味深くおもしろいもの。考えていたより難しかったけれど、できればには満足」と楽しそうでした。

そして、訪問団員のホーランス・アンドリュースさんは、富士市滞在中の感想などについて、次のように話していました。



◀6月1日
市役所で市長を表敬訪問

▶6月14日
青少年センターで書道体験。
1番左が、ホーランス・アンドリュースさん



Q 1 富士市滞在中の感想は。

富士市の方は、よくもてなしをしてくれて、富士市がとても好きになりました。日本食もおいしかったし、日本のことについて勉強になりました。

Q 2 富士市の人たちはどんな印象でしたか。

富士市の方は友好的で、生活様式や文化などを一生懸命私たちに紹介してくれました。

Q 3 富士市はどんな街でしたか。

とても水がおいしい。美しいお寺や、市の重要な産業である製紙工場もすばらしかったです。それに、ホストファミリーもとてもすてきでした。

Q 4 オーシャンサイドはどんな街ですか。

富士市に少し似ています。海に面していて空気がきれい。冬に雨がちょっと降るくらいで、年間を通してよい天候に恵まれています。

Q 5 富士市民に向けてのメッセージは。

オーシャンサイドは、富士市と姉妹都市になれてうれしく思っています。私たちは、もっとお互いに行き交い、出会って、お互いの文化を分かち合いたい。私たちは、富士市の方に会えてとても幸せだったから、皆さんもぜひオーシャンサイドに来てほしいです。富士市の皆さんが来ることを楽しみに待っています。